



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第218号

2008年6月21日

みなさん、こんにちは。今日は夏至。少しずつ昼の時間が短くなっていきますが、夏はまだこれから……。文博では、新たな企画展が始まりました。

写真展が始まりました



「夕陽」

企画展・郷土作家シリーズ

橋をみつめて **松山厚写真展**

第 部 架橋から開通直後まで

今年度の郷土作家シリーズとして、明石海峡大橋の姿を撮り続ける写真家、松山厚氏を紹介します。前期は、準備から開通直後までと題し、開通から10年を迎えた大橋の様々な様相を捉えた作品をご覧ください。

会 期：6月21日(土)～7月13日(日)〔月曜日休館〕

観覧料：大人 200円、高・大生 150円、小・中生 100円

20名以上の団体は2割引

高年手帳(65歳以上)・障害者手帳の提示で半額

会 場：当館1階・特別展示室

【関連イベント】

出品作家によるギャラリートーク：7月5日(土) 午後2時～

橋の科学館・マイスターによる講演会：7月6日(日) 午後2時～

小倉健 作陶展、好評のうちに閉幕

『小倉健作陶展』と併催『三田焼展』が、6月15日(日)に閉幕しました。25日間の会期中に3,000人を超える方々に、ご来場いただきました。

今月初めに開催されたイベント・小倉健さんの陶芸教室も、小倉先生の丁寧な指導やアドバイスに、「またこのような機会を設けてほしい」という感想が聞かれました。参加者が選んだ釉薬を作品に施して、先生が焼いて下さり、引渡しは来月の予定。皆さん、楽しみに待っておられることでしょうね。



ある参加者の作品